地域の価値 創造する力

坪井准教授「訓練で磨かれていく」

イノベーションについて語った坪井准教授（12日、静岡市駿河区で）

静岡大 読売講座

静岡大学と読売新聞が主催する連続市民講座「時代と地域のチカラ」（全5回）が12日、静岡市駿河区の県男女共同参画センター「あざれあ」で始まった。グローバル共創科学部の坪井秀次准教授（経営学）が「地域で起こすイノベーションとは」と題して講演した。

坪井准教授は、少年期に図書館で多くの本を読んだ発明家エジソンらを例に、分野を問わず、様々な知識を吸収することの重要性を説明。「イノベーションは、既存のモノ・サービスを組み合わせ、新しい価値を生み出すこと。特別なものではなく、訓練で磨かれていく」と指摘。地域でイノベーションを起こすには、外部と連携することなどが重要だと紹介し、「多くの人がイノベーターとして協力すれば、今より違うスピードで社会が変わっていく」と締めくくった。

（講座の詳報は、全講座終了後に掲載します）